

# 出会う

## 「構成的グループエンカウンター」



## 活動の雰囲気をつくる

地域の方が講師となって体験活動等を実施する際、主となる活動に向けた導入として、教育相談の手法である「構成的グループエンカウンター」の活動（エクササイズ）が活用できます。

「エンカウンター」とは、「出会う」という意味です。意図的に組み立てられたグループ活動を通して、集団のもつプラスの力を最大限に引き出す活動です。子ども同士の相互理解がすすみ、協力して問題解決する雰囲気をつくることができます。

講師： エンカウンターには、いろいろな種類があるようですが、説明に入る前に打ち解け合うことができるようなエクササイズを紹介してください。

教師： 「質問ジャンケン」（下の例）はどうでしょう。短い時間で、交流ができる効果的なエクササイズです。

### 「質問じゃんけん」（例）

- ① ペアになって座ります。
- ② 実施者は、ねらい、大まかな内容、ルール、留意点を説明します。
- ③ ジャンケンをして、勝った人は、負けた人に1つ質問をします。自分が聞かれて答えたくないようなことは質問しないようにします。
- ④ 負けた人は、質問に答えます。分からないことや答えられないことを質問された場合は、「わかりません」「答えられません」と言ってもかまいません。
- ⑤ ペアで、エクササイズを通して気付いたことや感じたことを交流します。

講師： 他にはどんなエクササイズがありますか。

教師： 自己紹介で活用できる「イエス・ノークイズ」やお互いの理解を深める「二者択一」などのエクササイズもあります。本やインターネットで調べると、ほかにもたくさん紹介されていますよ。

講師： はじめてやってみるのですが、注意することは何でしょうか。

教師： 流れをあらかじめしっかり確認しておくことが大切ですね。実際の場面では、子どもたちの活動の様子をよく見て指示を出すようにするとよいと思います。